

発行者 〒438-0292 磐田市岡 729-1 竜洋支所内 磐田市歴史文書館(磐田市教育委員会教育部文化財課)
電話：0538 (66) 9112 fax：0538 (66) 9722 Mail：chiikishi@city.iwata.lg.jp
開館時間：9：00～17：00 休館日：土日・祝日・年末年始

文書館業務と資料の紹介

磐田市歴史文書館は、「公文書館法」に基づいて、歴史的に重要な公文書などを保存し、利用に供するとともに、これに関連

する調査・研究を行うことを目的に設置されました。

<公文書の移管・選別>

行政機関（市役所、各種委員会、消防など）では、公文書は処務規程に定められた年数だけ保存されますが、保存年数を超えた公文書（書類・写真・AV資料など）は、文書を作成した課が一次選別を行った後、歴史文書館が担当課より引き継ぎます。その中から、歴史資料として価値がある文書（重要な政策の検討過程や意志決定に関する記録など）や市民が共有すべき書類を選別し、永久保存します。

今後、公文書の目録が閲覧できるよう準備を進めていきます。

右は 10 年前の合併当時に作られた合併協議の綴・報告書類、合併に関するイベントの印刷物などです。



寄贈公文書の紹介



後期の平常展で展示しました

昨年8月、静岡大学

附属図書館から、「井通小（現豊田南小）学校文書」400 点余が、当館に寄贈されました。年代は明治中期から昭和 20 年代初めごろまでのもので、教授日誌・職員会議録・役場や郡役所からの通達綴など、学校が作成したり受け取ったりした資料です。当時の学校教育の実態や、国や地方の政治が分かる貴重な資料です。旧豊田町誌編さんの際には、井通村役場文書が残されていなかったため、同図書館に保管されていた上記の資料が通史編・資料編に多く使われました。

これらの資料は、元静岡大学教授花井信氏により目録が作成されていますが、登録されていないものも数多くあり、今後整理を進めていきます。

資料の寄贈を！

当館では、公文書の他に地域（個人や自治会など）で所有されている資料も積極的に収集しています。

お蔵に昔の書き物がある、故人の古い資料があるなど、処分に迷われていましたら、是非当館にご連絡ください。寄贈された資料は“〇〇家所蔵文書”として大切に保存し、皆様の郷土研究やまちづくりに役立つように公開させていただきます。



平成 27 年度の文書館事業

企画展

		<開催場所>	<期 日>	<入場者数等>
●第 14 回	図書館展示	中央図書館	4 月 4 日～4 月 4 日	563 人
●第 15 回	文書館展示	歴史文書館	7 月 6 日～8 月 28 日	243 人
	歴史学習会	//	7 月 4 日	105 人
	現地見学会	見付地区	7 月 11 日	47 人
●第 15 回	図書館展示	中央図書館	9 月 5 日～13 日	326 人
	展示レクチャー	//	9 月 4 日	57 人
●第 16 回	文書館展示	歴史文書館	1 月 12 日～2 月 26 日	170 人（1 月末現在）
	歴史学習会	//	1 月 9 日	150 人
●その他	竜洋地区文化祭	なぎの木会館	10 月 24 日・25 日	（第 15 回企画展展示物を展示）
	蒼樹祭	静岡産業大学	11 月 14 日	（松岡霊社関係資料を展示）

第 15 回企画展

「遠州報国隊と日本の近代～激動期を生きた神官と幕臣～」

明治維新は、日本にとって大きな変革期となり、磐田の地もそのうねりの中に巻き込まれていきました。国学を学んだ遠州の神官たちは、報国隊を結成して討幕軍に加わりましたが、その直後、敵として戦った幕臣たちが遠州の地に移住してきました。故郷に戻れなくなった神官たちは、中央政府に出仕したり、靖国神社の創設に関わったりしていきます。また、移住した幕臣は、茶園の開拓や製塩業の他、教育にも従事して、地域の近代化に貢献していきました。

この展示では、淡海国玉神社の神官で、後に陸軍大将となった大久保春野や、海軍中将の赤松則良、海軍主計総監の長谷川貞雄などの資料を紹介しました。



歴史学習会 「二人の男爵～春野は則良をいつ知ったのか～」 磐田市立中央図書館の木村弘之主任が、新しく見つかった資料を元にお話ししました（受講者 105 人）。



現地見学会 見付の淡海国玉神社と大久保家屋敷を磐田ボランティアガイドの皆様の協力により見学させていただきました。特に大久保邸は、関係者のご好意により特別に建物の内部や裏庭なども見せていただくことができました（参加者 47 人）。



第 16 回企画展

「家康と磐田～古文書・古記録でたどる家康の足跡～」

平成 27 年は徳川家康没後 400 年の節目の年、後期企画展では磐田地域に残る家康の足跡を、文書などの資料からたどってみました。家康は、今川氏を攻めて遠州に進出し、武田との抗争に勝利して駿遠など 5ヶ国を支配後、江戸に幕府を開いた後も、駿府城に居て、たびたび中泉御殿を訪れていました。今川義元・氏真父子の判物や行興寺の渡船に関する文書など、貴重な資料を展示するとともに、地域に残る家康伝説なども紹介しました。

※4 月 16 日から 4 月 24 日まで 1 週間、中央図書館で開催予定です。



歴史学習会 「徳川家康と磐田」 家康研究の第一人者、静岡大学名誉教授本多隆成氏をお迎えし、最新の研究成果を織り込んだ、分かりやすいお話を伺いました。定員をはるかに上回る聴講者で、会場は熱気に包まれていました（参加者 150 人）。



平常展

- 前期 第14回「よみがえる「遠州の小江戸、～掛塚湊繁栄の軌跡～」の再展示
- 後期 「終戦の年、昭和20年の公文書」

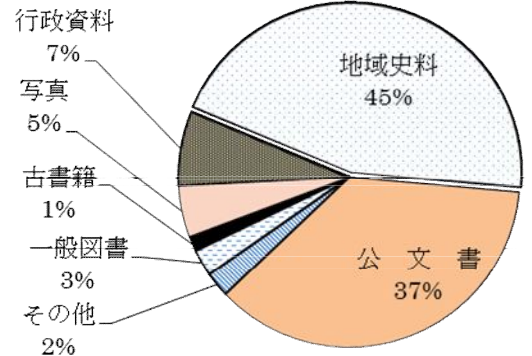
次年度企画展・平常展の予定 第17回企画展は、「光明電鉄」について7月初旬から、第18回企画展は、「福田町史」に関する内容で来年1月から開催予定です。平常展は、新たに寄贈された文書の紹介を中心に行う予定です。

資料保存

<寄贈文書・移管文書を中性紙の封筒・箱に入れるなどして収蔵庫に収めました>

●収蔵資料点数（平成28年1月末現在）

○地域資料（古文書、複写物など）	87,281点	
○公文書（行政機関の資料）	70,499点	
○行政資料（行政機関が発行した資料）	13,667点	
○写真 9,410点	○古書籍 2,781点	○一般図書 4,926点
○その他	・地図／絵図 1,591点	・統計資料 1,624点
	・CD/DVD 1,246点	・土質標本 182点



●公文書の選別数（平成27年度実績、1月末現在）



収集・調査

<寄贈・借用資料の調査・整理を行いました>

●寄贈件数 7件 点数 632点 （1月末現在）

静岡大学附属図書館の公文書その他、福田地域塩新田の個人から軍隊・漁業関係の近現代文書などが寄贈されました。

レファレンス

●利用者 市内99人／市外44人 （1月末現在）

古文書講座

<古文書実践上級講座を、市内各家史料をテキストに用いて実施しました> ●毎月第3金曜日全12回 25人



広報・普及・その他

<出前講座、講座への講師派遣、中学生職場体験などを実施しました>

- 歴史文書館運営審議会2回（8月4日、1月29日）
- 出前講座 ①青城小総合学習（6月26日／7月10日） ②竜洋西小総合学習（5月12日）
③竜洋西小掛塚現地学習（7月14日） ④竜洋敷地茶話会（7月28日・10月27日・1月26日）
⑤御前崎市白羽公民館講座「白羽を知ろう」（11月17日）
- 戦争の記憶を訪ねるバスの旅（9月26日）
- 福田中央交流センター歴史講座へ講師派遣（9月～1月全5回）
- ふるさと歴史ウォークへ講師派遣（12月5日） ●「手鑑・行幸図」解説会（7月23日）
- 広島・長崎被爆写真展「戦争の時代と磐田の人々」（総務課共催）市内図書館・中学校等巡回展示
- 中学生職場体験学習 福田中学（6月4日）・南部中学（10月15日）・竜洋中学（11月13日）

資料紹介

あなたの家にも眠っているかも…

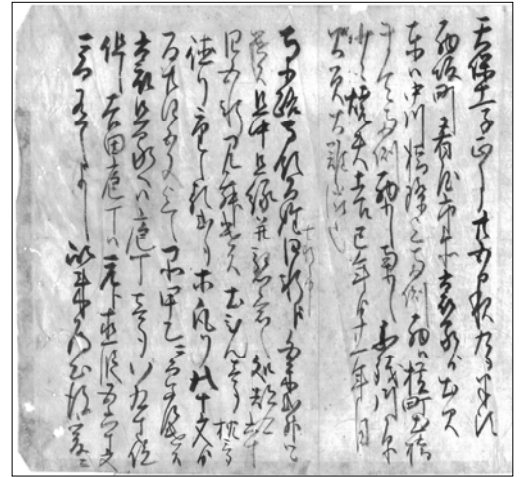
心すま

襖の下貼り

襖の下貼りには、貴重な資料が隠されていることがあります。袋井市のAさんから寄贈された資料は、お宅にあった襖の下貼りから見つかった、磐田市に関する文書でした。内容は雑多ですが、右の資料は、天保11年の正月25日に、見付西坂町の肴屋裏から出火し、東は中川橋際、西は横町土橋まで焼失し、被災者に見舞の品々を遣わしたことが書かれています。

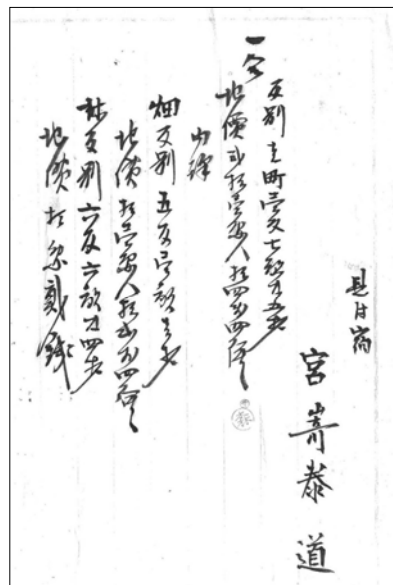
また下の資料は、土地の反別と地価を記した帳面の断片ですが、赤松則良の茶園を管理していた宮崎泰道の土地が記された部分がありました。このほか、磐田地域の村々の戸数・反別の調査、借金証文、中泉戸長役場の資料、投稿俳句などがあります。

下貼りを一枚一枚丁寧にはがしてくれたAさんには大変感謝していますが、読者の皆さんのお宅にも、こんな貴重な資料が貼られた襖が眠っているかもしれません。古くなった襖を捨てる前に、是非当館にご一報いただけたら有難く思います。



天保十一子正月廿五日夜九時半頃
西坂町肴屋市兵衛裏家より出火
東八中川橋際迄西側、西八横町土橋
まで両側、西少し南少し不残、川原
少々焼失、去ル巳年より廿一年目
火災火難洪也
寺小路寺領百姓七軒中四軒江白米二升ツ、
遣ス、且中旦縁并懇意之処都合六十
四五軒見舞遣ス、土びん巻ツ枕三ツ
徳り重之類式ツ等、凡ソ八十文より
百廿四五文迄之品甲乙二而差遣ス
裏旦那へ八包丁巻ツ八九十文位
但シ吉田包丁八元ト直段五六十文
二而有之よし、以来為心得爰二

一合	反別	見付宿
地価	町町巻反七畝廿五歩	宮崎 泰道
内訳	式拾吉円八拾四錢四厘	
畑	反別	五反巻畝壹歩
地価	地価	拾吉円八拾式錢四厘
林	反別	六反六畝廿四歩
地価	地価	拾円式錢



襖の下貼り



このように、襖の下に、古文書などの紙が、何重にも重ねて貼られています。

※宮崎泰道 赤松則良の叔父で、旧幕臣。明治2年から磐田原台地の開墾を始めた。

福田町史編さん事業

- 編さん委員会1回 ●編さん専門委員会3回（3回目は3月19日に実施予定）
- 編さん講演会（11月21日）／福田中央交流センター 98人
- 通史編発刊記念シンポジウム（3月19日開催予定）／福田中央交流センター

3月中旬に『福田町史 通史編』を発刊し、編さん事業は完了となります。平成22年度に本格的に編さん事業に着手して以来、福田地域の方々をはじめ多くの方々にご支援・ご協力をいただきました。ここに、改めて厚くお礼申し上げます。事業の成果は、通史編の中で、読みやすく編集・紹介いたしましたので、是非、お買い求めいただければ幸いです。価格は、冊子5,000円、DVD版2,500円です。